



隆安知財ニュースレター

目次

隆安ニュース	1
■ 隆安が2020法盟WeLegal中国サミットを開催	
■ 2020年度権鮮枝知財奨学金奨学生証書授与式を実施	
中国知財ニュース	1
■ 中国初の新型コロナワクチンが特許取得 審査期間5ヶ月足らず	
■ 商標国際登録審査の質・効率が向上 国内外出願人の権益を保護	
■ 著作権法修正草案(第2回審議稿)がの公示と意見募集	
■ 商務部、科技部が「中国輸出禁止・輸出制限技術目録」の調整版を発表	
■ 商務部:適格な外国人が中国の弁理士試験に参加可能	
■ 北京知財裁判所が短編動画の著作権侵害に関する代表判例を発表 (PPAP事件を含む)	
中国の代表判例紹介	3
■ 映画やドラマのスクリーンショット付き解説を提供する行為が権利侵害に該当するか否か——中国初の「図解ドラマ」をめぐる権利侵害事件を例に	
隆安2019年度知財十五大代表判例—第7、8案	3
■ 深セン市理邦精密機械股フン有限公司(原告)VS 深セン邁瑞生物医療電子股フン有限公司(被告)等の実用新案権侵害事件	
■ 広州神馬移動情報科技有限公司(原告)VS 北京搜狗科技發展有限公司(被告)のデータトラフィック盗用をめぐる不正競争事件	

隆安法律事務所 〒100020 北京建国門外大街21号北京国際倶楽部ビル8階

Floor 8, Beijing International Club Tower, No.21 JianGuoMenWai Street, Beijing 100020, China

Tel:0086-10-88096573 Fax:0086-10-88096923 Email:quanxz@longanlaw.com <http://www.longanlaw.com>

隆安ニュース

■ 隆安が 2020 法盟 WeLegal 中国サミットを開催

8月15日、隆安法律事務所は、CCA 会社法務連盟と連携し上海で 2020 法盟 WeLegal・中国サミット(企業・法律エリート影響力飛躍大会)を開催した。上海弁護士協会季諾会長、レノボグループ (LENOVO GROUP)、中国東方航空集团公司、ミシュラン中国の法務部責任者等、法律&ビジネス界で活躍している専門家たちが大会に参加した。本大会では、医療健康&知的財産権を含む4つの会場を設けた。隆安弁護士は、医療健康&知的財産権会場で「中国製薬会社が新情勢下における難局を突破する方法」をテーマに講演し、来場者の方々に好評を得た。

<https://mp.weixin.qq.com/s/LPvTmHwlo5e4IjvWcMOz3w>



■ 2020 年度権鮮枝知財奨学金奨学生証書授与式を実施

8月8日、2020年度権鮮枝知的財産権奨学金の授与式がオンラインで執り行われた。隆安シニアパートナー権鮮枝弁護士は、上海交通大学の奨学生に奨学生証書を授与すると共に、激励の言葉を贈った。その後、権弁護士は学生たちの質問に対し、自身の経験を踏まえ、懇切丁寧に回答した。

左のイラストは学生たちから贈られてきた感謝状です。

<https://mp.weixin.qq.com/s/KnCUyR6SuzteMe6aJqQ8Nw>

中国知財ニュース

■ 中国初の新型コロナワクチンが特許取得 審査期間 5ヶ月足らず

国家知的財産権局の情報によると、中国軍事科学院軍事医学研究院と康希諾生物股フン公司が共同で特許出願した新型コロナワクチンが、このほど特許権を取得した。同特許の発明の名称は「ヒト複製欠陥アデノウイルスをベクターとする新型コロナウィルス組換えワクチン」、出願日は 2020 年 3 月 18 日、特許番号は 202010193587.8、発明者は陳薇氏、呉詩坡氏、侯利華氏ら 15 人である。

国家知的財産権局は、当該特許出願が「專利優先審査管理弁法」に規定された優先審査条件及び「生産再開支援の 10 施策」の規定条件に該当するため、当該出願を優先的に審査し、2020 年 8 月 11 日に特許権を付与する旨の通知を出した。

<https://mp.weixin.qq.com/s/V3J35G7OgoJ5-o1MSiNkkQ>

■ 商標国際登録審査の質・効率が向上 国内外出願人の権益を保護

2020 年、国家知的財産権局商標局は、マドリッド商標審査の質・効率を引き上げるため、マドリッド協定議定書による商標国際登録の更新、代理人の指定等の業務をオンラインで行える機能を追加した。2020 年上半期、商標局は中国出願人のマドリッド協定に基づく商標国際登録出願を 3,875 件受理し、前年同期比で 36.0%増加した。うち、オンライン出願は全体の 93.5%に達した。一方、国際出願の保護を中国国内に拡張する出願の審査を 27,447 件完了した。

<https://mp.weixin.qq.com/s/1W5a7T7Oez1paES1FWFp4Q>

■ 著作権法修正草案(第 2 回審議稿)の公示と意見募集

「中国著作権法修正案(草案二次審議稿)」が一般公開され、パブリックコメントの募集を開始。

2020 年 9 月 30 日までに、以下に示す URL「中国人大網」に登録して意見を提出することができる。

「立法法」第 27 条の規定により、法律案は通常、常務委員会会議において3回の審議を経た後に表決に付さなければならない。よって、この「二次審議稿」は、今後正式に採択される法案に近づいていると推測できる。

今回の修正ポイントの例:

隆安法律事務所 〒100020 北京建国門外大街 21 号北京国際倶楽部ビル 8 階

Floor 8, Beijing International Club Tower, No.21 JianGuoMenWai Street, Beijing 100020, China

Tel:0086-10-88096573 Fax:0086-10-88096923 Email:quanxz@longanlaw.com <http://www.longanlaw.com>

- ◆ 著作物の定義を修正し、客体の保護範囲を拡大した。「文学、芸術及び科学の分野における創作性を有し、且つ、ある種の有形的な形式で複製できる知的活動の成果をいう」を「文学、芸術及び科学の分野における創作性を有し、且つ、一定の形式で知的活動の成果を表現できる」に修正した。
- ◆ 著作権法に保護されない「時事報道」を「単なる事実のニュース」に修正した。これにより、報道における解説文、撮影作品、視聴覚作品などが、ある程度著作権法に保護されるようになる。

<http://www.npc.gov.cn/flcaw/userIndex.html?id=ff808081736ba7420173ec57d96d3b14>

■ 商務部、科技部が「中国輸出禁止・輸出制限技術目録」の調整版を発表

8月28日、商務部と科技部は「中国輸出禁止・輸出制限技術目録」の調整版を発表した。今回の調整は53の技術項目に及び、この中には輸出禁止技術4項目の削除、輸出制限技術5項目の削除、輸出制限技術23項目の追加、21項目の技術規制の要点と技術パラメーターの修正が含まれている。

輸出制限の事例「汎用設備製造業」:

- ◆ 3Dプリンター技術の輸出制限／規制要点: 鋳造・鍛造・フライスの統合による金属材料の3Dプリンターの核心技術
- ◆ 建設機械の応用技術の輸出制限／規制要点: ローダー、ブルドーザー、掘削機等の振動、騒音の低減、インテリジェント制御など研究成果の応用技術
- ◆ 工作機械産業における基礎技術の輸出制限／規制要点: 工作機械の革新的設計、基礎技術、検証試験、信頼性、製品マネジメントなど、工作機械産業の基礎技術に関する研究

https://mp.weixin.qq.com/s/Hej3x3J251ZEte9y_4Jvtw

■ 商務部: 適格な外国人が中国の弁理士試験に参加可能

近日、商務部は「サービス貿易のイノベーション発展試行の全面深化総体方案」を公布した。本方案において、中国の永住権および他国の弁理士資格を取得した外国人が、中国の弁理士試験を受験し、特許事務所のパートナー若しくは株主になることを認めると明記されている。

<https://mp.weixin.qq.com/s/vfLTIG1wQZsRQvMrp-6fsg>

■ 北京知財裁判所が短編動画の著作権侵害に関する代表判例を発表 (PPAP 事件を含む)

近日、北京知財裁判所が短編動画の著作権侵害に関する代表判例を発表した。

例: Kuaishou (快手) 公司 (原告) は、華多公司 (被告) が「補刀」短編動画アプリに「PPAP」動画をアップロードした行為は原告の独占的な情報ネットワーク伝達権を侵害するとして裁判所に訴えた。

本件の争点は、係争動画が創作性を持っているか否かであった。著作権の規定により、著作物は作者が独自で作成し、且つある程度の取舍選択、配置、設計等において個性が含まれていれば、創作性があると判断すべきとしている。

一審裁判所は、創作性に関し以下のように判断した。係争動画には原作を模倣した要素があるが、2つの動画を比較すると、係争動画には音楽やパフォーマー自身の歌とダンス以外に、特殊効果を使用したパフォーマンスシーンを構築し、さらに、歌詞に登場した果物に対応するアニメーションを作成し、パフォーマーの動作が二重、三重に見える画像編集効果、千手観音の動き、そして、最後に地割れの中に姿を消してしまう等効果を加えられている。全体として、係争動画は、原作よりも豊富な表現が含まれかつローカライズされており、作者の個性的な構想及び設計が反映されている。従って、原作の表現と区別する創作性があると判断した。

係争動画は、映画の撮影製作に類する方法により創作された著作物に該当する。一審裁判所は、被告が原告の許可なしに「補刀」短編動画アプリに係争動画を投稿する行為は原告の独占的な情報ネットワーク伝達権を侵害すると判断し、被告に対し損害賠償 1 万元及び合理的支出 14820 元の支払いを命じた。第 2 審は、両会社の和解により、控訴が取り下げられた。

係争動画のリンク: <https://v.kuaishou.com/60h99P>

<https://mp.weixin.qq.com/s/R4xPTLVOpMS6xSJZxdEBXg>

隆安法律事務所 〒100020 北京建国門外大街 21 号北京国際倶楽部ビル 8 階

Floor 8, Beijing International Club Tower, No.21 JianGuoMenWai Street, Beijing 100020, China

Tel:0086-10-88096573 Fax:0086-10-88096923 Email:quanxz@longanlaw.com <http://www.longanlaw.com>

中国の代表判例紹介

■ 映画やドラマのスクリーンショット付き解説を提供する行為が権利侵害に該当するか否か——中国初の「図解ドラマ」をめぐる権利侵害事件を例に

YOUKU(優酷)ネット技術(北京)有限公司(原告)は、深セン市蜀黍科技有限公司(被告)が被告の「図解映画」アプリにおいてドラマ「永遠の桃花～三生三世」のメインシーン及びあらすじを含む連続したスクリーンショット付き解説動画をアップロードする行為は原告の情報ネットワーク伝達権を侵害するとして北京インターネット裁判所に訴え、損害賠償と合理的支出を含む計50万円の賠償を求めた。

被告の抗弁:係争動画は、ドラマシーンのスクリーンショットと解説文字を組み合わせた二次的創作物であり、その要部は解説文字にある。また、映画やドラマを見て文字で感想をシェアする際、スクリーンショットは付きものであり、また連続再生しても、300枚くらいのスクリーンショットは係争動画全体の数秒間しか占めていない。係争動画に対し、これは合理的な引用である。

裁判所の判断:係争動画はほぼ全て、ドラマにおけるそのままの表現で、コメントを目的とする適切な引用の限度を超えており、被告の行為は合理的使用に該当しない。

故に、北京インターネット裁判所は、被告の権利侵害行為を認め、3万円の損害賠償支払いを命じた。

<https://mp.weixin.qq.com/s/x3inev6dGchJeZKaFVd44Q>

隆安 2019 年度知財十五大代表判例—第 7、8 案

■ 深セン市理邦精密機械股フン有限公司(原告)VS 深セン邁瑞生物医療電子股フン有限公司(被告)等の実用新案権侵害事件

[事件概要]

原告は、被告が原告の実用新案権を侵害するとして裁判所に訴え、侵害行為の差止めと損害賠償2500万円を請求した。隆安は被告を代理し、現有技術の抗弁を主張した。一審裁判所は当方の主張を支持し、原告の請求を全て棄却した。二審裁判所は一審判決を維持した。

[入選理由]

本事件の当事者は、いずれも中国の知名な医療機器企業であり、原告は被告に対し、本件を含み計4件の権利侵害訴訟を提起し、訴額の合計は1.25億元に達している。本事件は膨大な利益が絡んでいたため、業界やマスコミの大きな注目を集めた。

本事件は、福州高裁「2019年福州裁判所知財司法保護10大判例」に入選。

<http://www.longanlaw.com/news/13806.html/>

■ 広州神馬移動情報科技有限公司(原告)VS 北京搜狗科技発展有限公司(被告)のデータトラフィック盗用をめぐる不正競争事件

[事件概要]

被告が開発したAndroidデバイス用文字入力ソフトは、入力文字候補の上に検索候補語が配置され、ユーザーが検索候補語をクリックすると、被告のSogou検索結果ページにジャンプする機能を持っている。隆安は原告(アリババグループの子会社)を代理し、被告の当該機能が意図的にユーザーを混乱させ、データトラフィックを盗用し、不正競争に該当するとして裁判所に訴えた。裁判所は被告に対し、不当競争行為の差止め及び損害賠償額2000万円の支払いを命じた。

[入選理由]

本事件は、海淀裁判所が設立以降審理した訴訟において、賠償金額が一番高い知財事件である。シリーズ事件には、百度BaiduVS搜狗Sogou、奇虎360VS搜狗Sogouがあり、三つの事件は同日に審理され、判決が下された。業界への影響力は大きい。

本事件には複雑な技術問題が係わっており、アリババ法学院は、本事件を代理した隆安弁護士に「革新」賞を授与した。これは外部の弁護士に対するアリババ法学院はじめての表彰授与となる。

<https://www.iphouse.cn/cases/detail/4von0m87qg2rlevngn1jx1p395dwzkey.html>

隆安法律事務所 〒100020 北京建国門外大街21号北京国際倶楽部ビル8階

Floor 8, Beijing International Club Tower, No.21 JianGuoMenWai Street, Beijing 100020, China

Tel:0086-10-88096573 Fax:0086-10-88096923 Email:quanxz@longanlaw.com <http://www.longanlaw.com>